

「サンパウロ視覚障害者支援団体点訳機材導入・施設改修計画」引渡式

2006年3月31日、サンパウロ市ヴィラマリアナ地区において、「ドリナ・ノヴィウ視覚障害者基金」に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の引渡式が開催されました。

同引渡式は同団体本部において、西林万寿夫在サンパウロ日本国総領事、アルフレード・ヴァイスフログ同基金会長他多数が出席して盛大に実施されました。

式典は、日伯両国歌演奏から始まり、西林総領事もブラジル国歌合唱に加わり、出席者より盛大な拍手を受けました。

式典においてヴァイスフログ会長は、「今、サンパウロ総領事は我々と共にブラジル国歌を歌ってくださったが、それは正に我団体が目指す『統合』を表しています。この度供与された印刷機材により、少量生産で多様な分野の点訳図書を提供出来るようになり、視覚障害者に対する学問の機会が増えます。団体を代表して、日本政府・国民の皆さんに感謝したい。」と挨拶し、我が国への厚い謝意を示しました。



左より：ヴァイスフログ会長、西林総領事、ノヴィウ名誉会長



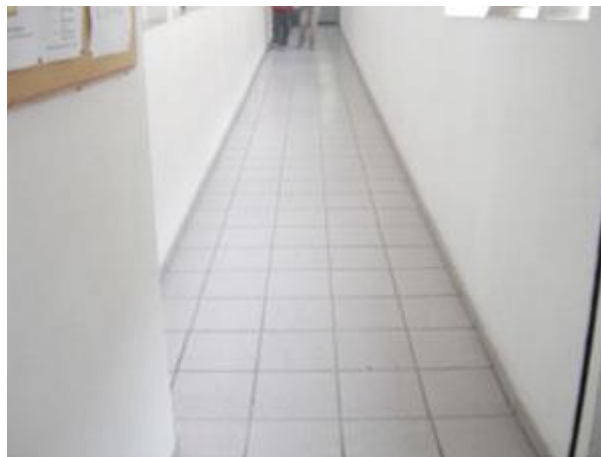
ドリナ・ノヴィウ視覚障害者基金理事の皆さん



廊下誘導ブロックとエレベータ
前警告ブロック



改修後（手すり、誘導ブロック
設置）



改修前

○上記案件のプロフィール

案件名：「サンパウロ視覚障害者支援団体点訳機材導入・施設改修計画」

被供与団体：ドリナ・ノヴィウ視覚障害者基金

契約署名日：2005年6月7日

供与限度額：70,087米ドル

案件概要：

ドリナ・ノヴィウ視覚障害者基金は、1946年にサンパウロ市に設

立された視覚障害者を支援する非営利団体で、ブラジル国内の視覚障害者の教育・社会参加支援を行なっています。同団体は、年間10万冊以上の点訳図書を配布するラテンアメリカ最大の点訳図書発行団体でもあります。

しかしながら、近年需要が増している弱視者向け図書など少量生産に対応出来る点字印刷機材を所有していないほか、視覚障害者をアテンドする団体でありながら、本部建物には手すりや警告ブロックが設置されていませんでした。

このたび、我が国の無償資金協力により、点訳図書数の増加を図るための点訳機材を購入するとともに、本部建物内に手すり、視覚障害者用誘導・警告ブロックを設置しました。



供与された少量生産向け点訳印刷機